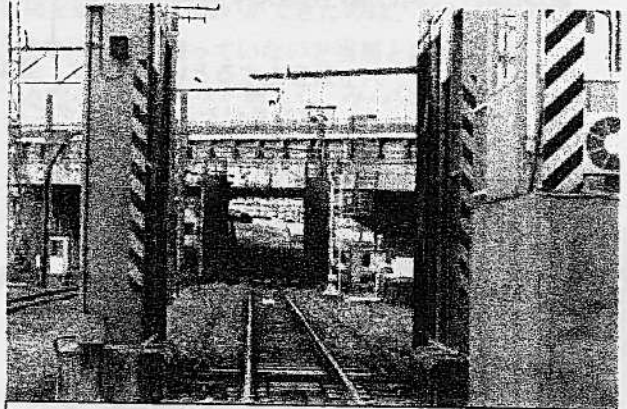


幕張構内事故闘争 ～クビは絶対許さない～

○幕張構内事故について

06年4月6日、幕張の構内で列車の脱線事故が起きた。列車の入れ換え作業をする場所です。入れ換え信号機のすぐ手前に踏切があり、信号機の先には車体の洗浄機が2台ある。踏切と洗浄機に気をとられ、列車が脱線し、車体が洗浄機のほうに傾き、総額4億円の被害が出る事故が動労千葉の組合員の運転する列車で起きた。



2台の洗浄機。手前に入換信号機があり、その手前に踏切がある。左上がランプ。奥が事故の起きたポイント。
(南引き上げ線側から)

◎すべての責任は当局にあると言いきるまで

→安全運転闘争をやっている最中に動労千葉の組合員が起こした事故だったから

「本人の責任じゃない」と言い切って正面からけんかをする立場に立ちきるまでに結構時間がかかった
(p 39 下 田中委員長)

当局の側から「懲戒解雇」という声が聞こえてきて、職場は当初、みんなヒソヒソ声で話すという重苦しい雰囲気だった。
(p 39 下)

But・・・

事故が発生した箇所は動労千葉が3年前から危険だと会社に指摘してATSの設置を要求していたところだった。会社は安全対策を放置し続けた箇所だった。

「一切の責任は当局にある」と言い切って闘いを開始

安全運転闘争をやっていたから切り替えた後にはいい闘争になった。

→日々の闘いが当局を追い詰める

→安全運転闘争をやってよかったと本当に思ったのは、幕張事故闘争の渦中でのこと。安全運転闘争で動労千葉が当局を追い詰めていた。そういうことが背景にあったから幕張事故闘争に勝つことができた。

(p41 上 田中委員長)

安全運転闘争をやっていたから闘うことができた！

対称的